

NEW PROJECT

“自由で統一されたコリア” サポートキャンペーン

朝鮮半島の平和統一を国際社会がサポートする意思を表明する署名（登録）キャンペーンを行います。北東アジアの平和構築のために、誰でも簡単に参加できるこのキャンペーンにご協力ください。

ご登録いただいた皆さまには、こちらのニュースレターをお届けします。北東アジア地域の平和や朝鮮半島情勢に関する情報、脱北者による証言などを通して、1日1分ずつでも共に平和を願い、考えてくだされば幸いです。



サポート表明は
こちらから！

EVENT

第7回

ピース・デザイン・フォーラム

2024年11月2日、文京シビックホールにて「第7回ピース・デザイン・フォーラム」が開催されました。「北東アジアの平和構築の新視点とアプローチ」をテーマに、地域の安全保障や人権問題について専門家による講演とパネルディスカッションが行われ、北東アジアにおける平和と協力の在り方が議論されました。



和太鼓奏者・千代園剛氏

■五味洋治氏（フリージャーナリスト）

ロシア・ウクライナ戦争の影響や北朝鮮の最近の動向に触れながら、朝鮮半島の緊張がさらに高まる現状を解説しました。また、日本が朝鮮戦争に関与した歴史的背景を振り返り、日本が隣国の安定と平和に責任を持つべきであると主張しました。



■姜英之氏（東アジア総合研究所 理事長）

自身の経験を交えて、朝鮮半島の平和統一が東アジア全体の平和と繁栄につながることを強調しま

した。特に、北朝鮮と対話が続けることの重要性を訴え、具体的な取り組みを通じて信頼関係を築く必要性を説きました。



■後藤亜也氏（グローバル・ピース・ファウンデーション・ジャパン 代表理事）

戦争や紛争の背景にはしばしばアイデンティティの対立があることを指摘し、それを克服するには共通のビジョンが不可欠であると述べました。また、朝鮮半島の平和統一を目指す「コリアン・ドリーム」の理念を紹介し、多くの人々が共有できる目標を持つことの重要性を説明しました。



ピース・デザイン・フォーラムは今後も
日本各地で開催します！

NOTICE

参加者・団体募集中！

多文化おもてなしフェスティバル2025

人種・宗教・国籍・文化の壁を超えた「ワンファミリー」の文化を体験できるフェスティバルです。2025年は11月16日に開催します！日本橋浜町の「プラザマーム」でお待ちしています！



多文化おもてなしフェスティバル2024

Multicultural One Family Festival 多文化おもてなし Connecting Smiles

今年10月、北朝鮮がロシア・ウクライナ戦争への派兵を開始しました。金正恩政権はロシアから派兵の見返りに兵士1人あたり相当額の資金とミサイル技術の供与を受けると言われています。派兵された若者たちが異国の地で命を落としても、遺族には何の補償もないのだとか。

情報化が進んだことで北朝鮮にも韓国文化が容易に流入し、韓国社会に憧れる人が増えています。韓流ドラマを視聴した中学生たちが見せしめで公開処刑にされたというニュースがありました。遅かれ早かれ、人々の心が金正恩政権から離れていくのは必然的な流れになってきています。

現在の金正恩政権が国民の幸福を増進するためではなく、自らの体制維持だけに汲々とし、そのために国民の生命を戦地向けに「販売」し、自由と人権を抑圧している状況は、正に世界でも最悪の状況と言えます。

北朝鮮は現在、対外的にもかつてないほどの国際的孤立に立たされています。伝統的な支援者であったはずの中国も北朝鮮の核開発を快く思わず、ロシアに派兵する北朝鮮と関わることで一緒に非難や制裁を受けることを恐れている状況です。ロシアにしても現在は北朝鮮をあてにしていますが、状況が変われば北朝鮮ゆえにリスクを被ることはしないはずで。

このように実は、朝鮮半島を取り巻く北東アジアの国際関係は、冷戦時代の「日韓米 対 ソ中北」という構造から大きく変化してきています。

視点を変えれば、周辺国すべてにとって、北朝鮮のような地域の安定を損なう国家が存在することは経済的にデメリットが大きく、安全保障上の脅威にもなっているのです。



朝鮮半島の平和統一を願って38度線近くに集まった3万人の市民たち。脱北者も1000人以上が参加。

韓国社会もユン・ソンニョル大統領が戒厳令を発して以来、混乱が深まっていますが、これもまた、統一の必要性和無関係ではありません。

韓国社会にこれほどの分断が生じているのは長い半島分断の結果と見る事もできるからです。

朝鮮半島の平和統一によって新しい国家を建設することを訴える「コリアン・ドリーム」のビジョンは、現在の行き詰まった韓国社会、朝鮮

半島、北東アジアにおいて、共通の処方箋になることが予想されます。

自由と民主主義の「統一コリア」誕生が周辺地域にいかなる影響をもたらすか、現在、様々な面から研究が始まっています。日本にとっても、安全保障上の脅威が取り除かれ、統一コリアとの相乗効果による経済的恩恵は、「失われた30年」から脱するに十分だと言えるでしょう。

隣の国で起きている出来事に、日本の私たちが目が離せないだけでなく、積極的にサポートすることで、北東アジアの平和、安定、発展に貢献できるのではないのでしょうか。

そんな中、韓国にはすでに3万人を超える脱北者がいます。彼らは北朝鮮による人権被害当事者であり、北朝鮮に残してきた家族や友人の安否を憂えています。北朝鮮の状況が極に達した今、彼らの訴えが高まっています。

彼らの訴えは、統一は「いつか」ではなく、「今こそ」あるいは「一刻も早く」です。現在の状況が長引くほど、北にいる家族に人道上的悲劇が増し加わっていくからです。



統一を叫びながら行進する人々